



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No. 271

第3回
定例会
再生紙を使用しています



空高く自作のたこ舞う「足立凧まつり」

足立区議会写真部 うすい 浩一 撮影

区長提出議案

平成26年度足立区一般会計歳入歳出決算を認定

議員提出議案

地方税財源の拡充に関する意見書

都市農地の保全と農業振興の

推進に関する意見書

を可決

平成27年第3回定例会のあらまし

第3回定例会は、9月25日から10月23日までの29日間で開会しました。

おり認定しました。

本会議初日の区長あいさつ

その他の区長提出議案19件について、すべて原案のとおり可決しました。

その後、各会派の代表議員、無党派の議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

また、議員提出議案4件については全会一致で可決しました。

今定例会では、平成26年度足立区一般会計等、4会計決算を決算特別委員会で審査し、それぞれ原案のと

し、3件を採択、8件を不採択、15件を継続審査としたほか、2件の撤回を承認しました。

寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をする場合は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。年賀状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

● 主な内容 ● ● ● ● ●

2面 ● 区政を問う

(各会派代表・一般質問)

5面 ● 議決結果

6面 ● みなさんからの

請願・陳情

● 今定例会で可決した

意見書(要旨)

● 意見の分かれた案件

● 委員会活動

7面 ● 決算特別委員会の討論

(要旨)

8面 ● 平成26年度各会計決算

● 決算特別委員会での審査

● 議会を

傍聴してみませんか

● 会派等一覧

問

代表・一般質問を平成27年9月25日、28日、29日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

大学病院の誘致実現で、

足立区の魅力が更にアップ

自由民主党 馬場信男 議員



魅力ある特典を用意すべき

【問】区ふるさと納税の特典は、現在ピンバッジと盾だ。これでは毎年の納税は望めない。例えばあだち菜うどんや、朝採れたての枝豆等、魅力あるものを用意すべきと思うがどうか。

【政策経営】当区をはじめ特別区としては、ふるさと納税の本来的趣旨の考えを主張している。今後も寄附文化を定着させ、より暮らしやすいまちづくりに努めていく。

東京女子医科大学東医療センターの移転準備は

【問】①区は多額の負担にどう対処するのか。基金を準備するとすれば、計画や財源はどのように考えているか。

②薬局や宿泊施設といった病院以外の整備やその充実、また、現在区内にある医療施設との連携についての考えは。

【政策経営】①金額に関する調整はまだ行っていない。基金の設置は、今後単年度に一定程度の負担の発生が想定されるため、大変有効である。特定財源は見込めないため、一般財源から充当することを見込んでいる。

②区の果たすべき役割について、病院と協議しながらまとめていき、今後、地域医療全体の構想づくりの取り組みの中で関係者と検討していく。

待機児解消への具体的対策を

少子・高齢社会への対応と健康増進に医療体制の充実

自由民主党 白石正輝 議員

【問】保育士不足の問題は深刻であるが、区の対応は遅れている。保育士の確保に居住費の負担等、より具体的な対策を打つべきと思うがどうか。

【教育次長】「高校中途退学に関わる中学校・高等学校連絡協議会」を設置した。今後は具体的な連携事業について、分科会を設ける等して協議を進めていく予定である。今後、協議会に出席している都教委の関係者に、進学に関する生徒の多様なニーズに答えられるよう積極的に働きかけていく。

【子ども】待機児解消への具体的対策を講じていく。

【福祉】①平成29年度に1箇所120床の開設を進めている。介護従事者としての専門性の確立の推進を国や都に要望していく。

【足立福祉】②区としては、国の目標値である当面利用率80%を目指す。保護打ち切りを視野に入れた法律改正や運用変更も有効であると考えている。

【子ども】③今後、各事業者の意向を調査し、募集定員枠を見直す。私立保育園への補助員配置の件費を計上し、申請手続について各園に通知している。

【問】①歯周病予防の助成と啓発に努め、眼科健診を成人健診に入れるべきと思うがどうか。

【問】①歯周病予防の助成と啓発に努め、眼科健診を成人健診に入れるべきと思うがどうか。

下り急行線高架橋の完成と競技場の照明・人工芝化

自由民主党 光治 議員

見極め、積極的に啓発していく。眼科健診は、引き続き国の動向を見守りながら検討していく。

【政策経営】②都と慎重かつ丁寧な協議を進めるとともに、東京女子医科大学と調整していく。

【問】竹ノ塚駅付近鉄道高架化工事に伴って、下り急行線高架橋が全線完成するのはいつか。

また、実際に下り急行線が高架橋の上を走るのはいつか。

【問】舎人公園の陸上競技場のナイター照明については、今年度には基本設計に入るとのことであったが、現在の進捗状況と今後の予定はどうか。

また、人工芝化についても、都に要望を続けていきたいとのことであったが、その後の協議

【問】①歯周病予防の助成と啓発に努め、眼科健診を成人健診に入れるべきと思うがどうか。

【問】①歯周病予防の助成と啓発に努め、眼科健診を成人健診に入れるべきと思うがどうか。

災害に強い街づくりと子供達の教育力の向上について

自由民主党 鹿浜昭 議員

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

【問】区では高齢化が急速に進

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

んでおり、災害時には間違いなく中学生のパワーが必要だ。中学生消火隊で訓練した生徒たちが、将来、地域防災の担い手として活躍することは大変心強く、区全体のレベルアップにもつながる。

【危機管理】今年度は消防署と連携して発隊を促進し、7校の発隊に至った。今後、残り19校の発隊に向けて、各校に強く要請していく。



【学校教育】二期制から三期制に戻すことについては、昨年度開催した有識者会議での意見をもとにメリットやデメリットを改めて検証するとともに、次の学習指導要領改訂による動向も見据えながら、学校行事の時期の見直しや授業時数の確保についても、さらに具体的に検証していく必要があると考える。

足立区議会公明党

区民の命と暮らしを守る

諸施策の充実を!

公明党 佐々木まさひろ 議員

【問】四方を川に囲まれた当区での水害対策は急務である。ハード、ソフト両面の対策を早急に進めるべきだがどうか。

【区長】この度の大雨により、区の対策の弱点も見え、早急に対策を進めなければならぬ。具体的内容も明らかになってきた。いち早い対応をハード、ソフト両面で行いたいと考えている。

【問】二期制を検証し三期制に戻せ
【問】二期制に変わり11年目を迎えた。学期途中に夏休み・冬休みを挟むため、はじめ・集中力をつけにくいことから、三期制のほうが子どもたちにとっていいのではないかと考える。先生方からも、季節感に合致した三期制のほうが、子どもたちの生活リズムに合っているとの意見を多く聞く。ぜひ、早急に検証し、元の三期制に戻してほしいと思うがどうか。

【福祉】①実施に向けて、調査対象、調査項目、調査方法等、検討していく。
また、ハローワークとの連携をさらに強化し、正規就業への支援に取り組んでいく。
②中学生の居場所については、今年度の実施状況を分析し、平成28年度以降の増設、拡大を検討していく。小学生の居場所については、今後の検討課題としている。
また、居場所における食の提供は、NPOと連携し、子どもの状況に応じて行っていく。
【問】①制度の周知を様々な機会を捉えて、繰り返し行っていくべきだがどうか。
また、FAQ(よくある質問集)を作成し配布してはどうか。
②マイナンバーを取り扱う職員研修をしっかりと行い、個人情報保護の取り組みを行っていくべきだがどうか。
【区民】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。
【政策経営】②情報セキュリティの研修内容に、今年度はマイ



【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

用語解説 *自転車ナビマーク：自転車が行きやすい方向を示すためのマーク

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

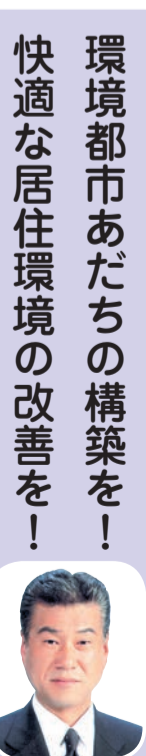
【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【問】①可能な限り機会を確保し、丁寧な説明を重ねていく。よくある質問集は、常に新しいものをホームページで公開していくほか、それを抜粋した基本のQ&A集を作成し、区窓口で配布していく。

【子ども】ボランティアによる家庭訪問は、親の心の安定、児童虐待の未然防止にも効果的だと考えている。家庭訪問型の子育て支援事業の実施に向け、具体的に検討していく。



公明党 たがた直昭 議員

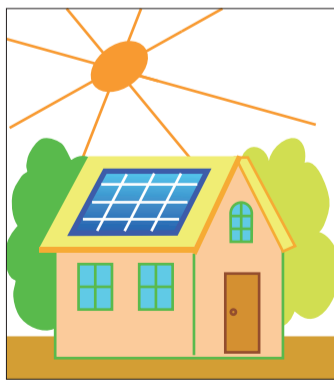


【省エネ等設備設置費用の補助事業拡充】

【問】省エネ設備改修や施設用LED照明等の設置費用の補助は、7月末時点で受付が終了した。この補助事業への申込みの多さは、区民の環境に対する関心の高さにも起因していると考えられる。より多くの区民の環境意識醸成のためにも、幅広く利用できるよう予算の拡充等を図るべきだがどうか。

【問】ワンルームマンションの建設や販売を通し、住民とのトラブルが発生している。ワンルームマンションの建築規制は、各自自治体が必要と定めているが、区は「足立区環境整備基準」を指針としている。無秩序な建設をする業者も急増しているため、基準を見直し、条例化を検討すべきだがどうか。

【建築】区との事前協議が成立せず、基準を遵守しない件数も増加傾向にある。ワンルームマンションを含めた集合住宅の問題点や課題を早めに整理し、平成28年度内に集合住宅に関する条例の制定を目指していく。



【環境】来年度については、限られた予算の中で、多くの区民が幅広く利用することで環境意識を高める。

未来を担う子ども達の教育について

公明党 吉田こうじ 議員

【問】「足立区総合教育会議」で議論している教育大綱には、子どもたちや区民のたくましく生き抜く力を育んでいくという

【政策経営】教育大綱案では、強さを求める観点と同時に、豊かな心を伸ばすための、心の教育の観点からのアプローチも重要だかどうか。



区が目指すべき人づくりを基本理念として掲げ、その下にライフステージ別の理念を設定し検討を進めている。その中で、「たくましく生き抜く力」「豊かな心」といった観点は、重要な要素の一つと位置づけ、その要素を盛り込む予定である。



いじめ根絶のために一丸となれ
【問】現在設置されているいじめ防止体制を有効に機能させるためには、まず校長が率先していじめ根絶を宣言し、姿勢を打ち出すことが重要と考える。今後は、いじめの認知件数とともに、取り組み件数、予防策や対応策も、地域の方々の協力を得ながら、学校が一丸となって取り組むべきだろうか。

日本共産党足立区議団

区民の希望が開ける やさしい区政と教育を!

日本共産党 鈴木 けんいち 議員



公共施設縮小のための「総合管理計画」にはならない
【問】再来年3月までに策定するとしている足立区公共施設等総合管理計画は、区民にとってサービスと利便性が向上する計画であるべきだがどうか。

【資産管理】区民サービスや利便性向上に十分配慮し検討を進める。さらに、施設利用状況や地域特性、民間とのバランスを考慮し、時代変化に合わせた施設やサービスのあり方を検討し、議会や区民へ情報を提供し計画を策定していく。

エリアデザインは区民要望を生かした綾瀬駅前の活用を

【学校教育】各校では「学校いじめ防止基本方針」を定め、校長が先頭に立つて組織的に対応している。さらに、開かれた学校づくり協議会やPTA活動で情報提供するとともに、改善策等の協議を行っている。今後はいじめの早期発見と的確な対応に努めていく。

【問】区は綾瀬の顔となる憩える空間をつくり、緑地やタクシープールの設置等、様々な都市計画の手法を駆使して、区民要望を取り入れた計画となるようリードすべきだがどうか。

【資産管理】エリアデザインの再検討を進める中で、駅前の歩行者空間の確保等、交通環境の整備も視野に入れた検討を行い、まちの魅力創出を推進していく。

基幹業務の外部委託は中止せよ

【問】①戸籍業務は来年3月末まで引き続き富士ゼロックスが請け負うが、戸籍届出業務からは撤退する。契約社員は約半数に、事務量も減るが、毎月1千

129万円の委託料が変わらないのは、公金の不当支出ではないか。②国民健康保険業務は、戸籍以上に個人情報集中し、医療を受ける権利と健康や命、医療費や保険料の支払いで生活状況に直結する。外部委託すべきではなく、中止すべきだがどうか。

【区民】①変更後の委託料は他社との比較で妥当と判断しており、不当支出と考えていない。

②国民健康保険特別会計は、運営経費削減の必要がある。個人情報保護を十分に図り、専門定型的な業務を民間に任せると、区民サービス向上とコスト削減の両立を図る。結果生み出した人員を滞納対策強化に振り向け、さらなる歳入確保を図ること、最終的にサービス向上として区民に還元される。したがって、中止する考えはない。

効果を上げてきた情緒障がい児等の通級学級は廃止にするな

【問】区は来年度から3年で全校に特別支援教室を開設し、教員の巡回指導を行うとしている。開設を理由に通級学級を全廃することなく、支援の選択ができるようにすべきだがどうか。

福祉・介護の充実、子どもの貧困対策について問う

日本共産党 山中 ちえ子 議員



【子ども】平成30年4月の廃止までの間、平成27年度以前から通級を利用していた児童はその状況に同じ必要ならば、引き続き通級の利用も可能とする等、柔軟な対応を行っていく。

保育は人材の確保でこそ充実

【問】保育士の人材確保には、待遇・賃金の大幅な引き上げが必要であり、関係機関に働きかけるべきだがどうか。

また、区は保育士の新規採用に踏み切るべきだがどうか。

【子ども】区として上乗せを行う考えはない。国・都・区が保育士等の処遇改善のために設けた仕組みが人材確保に繋がるよう、関係機関に働きかけていく。

また、新規採用予定はないが、保育園民営化の進捗と今後の退職予定者数等を踏まえ、将来的な職員配置計画を検討していく。

【問】基本構想の見直しの中で福祉職員の増員、地域包括支援センターの体制強化等、福祉施策の充実を図るべきだがどうか。

また、専門スタッフがいる認知症カフェを区内の地域包括支援センターに設置できるように、財政支援を行うべきだがどうか。

【子ども】①実質賃金が減り労働環境の悪化も重なって親子が向き合う時間は減っている。この時間の保障こそが大切ではないか。②福祉の視点からもSSWの役割は重要で養成支援と思いつけるべきだがどうか。

【貧困対策】①経済的な保障は、基本的に国の施策と考える。子

足立区議会民主党

足立区に集う皆が安心して暮らせるやさしい足立区を

民主党 長谷川 たかこ 議員



やさしい視点を新・基本構想に
【問】多くの生きづらさを抱えた人たちがいるこの社会で、制度の谷間に落ちている人たちに、手が差し伸べられる仕組みを作らなくてはならない。「みんなが集える足立区」を目指し、「足立区に集うみんなが安心して暮らせる、やさしい足立区」構築のため、すべての人にとってやさしい視点を取り入れた新基本構想・新基本計画を作成し、具体的で積極的な取り組みを願いたい。どうか。

【問】特にニーズの高い面会交流支援について、公益社団法人家庭問題情報センター等と連携し、援助者として相談員を配置し、例えばギャラクシティを活用

【子ども】②今後は今年度の成果を分析・評価した上で、計画的な配置を検討していく。



【政策経営】支援事業の実施では、面会場所の提供だけでなく、感情的な対立を抱えた父母に対する働きかけや、子どもの連れ去り防止等、多角的な対応が求められることから、今後、慎重に研究していく。

同じ境遇の経験を悩める家族に

【問】へアレントメンターと学校を連携させ、不登校や不適応行動で苦しんでいる子どもの親につなぎ、当事者家族支援を展開してほしいがどうか。

【福祉】子どもの不登校や不適応行動で悩んでいる親を孤立させないためには、関係機関の連携が大切と考える。まずは事業の立ち上げに力を尽くしていくが、進捗にあわせて教育機関の所管部署と連携をとり、へアレントメンターや発達障がい啓発・周知活動を行っていく。



雇用対策の強化を!

空き家活用の充実を!

民主党 おぐら 修平 議員



【問】現在、青井高校で進路未決定者・高校中退者の就労及び進学支援のモデル事業を実施している。早急に拡大を図るよう

【産業経済】都教委では、都内2校でのモデル事業の結果を踏まえ、平成28年度にユースアドバイザーを中心とした進路支援チームによる支援を本格的に実

用語解説

*SSW: スクールソーシャルワーカー。問題を抱えている児童・生徒について、置かれている環境等を考慮しながら、関係機関と連携して、問題の解決を支援する社会福祉の専門家

*へアレントメンター: 発達障がい特性のある子どもを育てた親がその経験から、同じ立場の親に対して相談や地域情報の提供等の当事者支援活動を行う人のこと

*ユースアドバイザー: 若者の自立支援に対応する専門的な相談員。都立高校では、中途退学者や進路が決まっていない卒業生の相談に乗ることで、就職や再就学を後押しする

施すると聞いており、早期の実現を要望していく。

また、区も都教委や都立高校との連携による、中途退学者や卒業後進路未決定者の支援に向けた協議会を実施するとともに、区教委でも高校中途退学に関わる中学校・高等学校連絡協議会等を実施しているところである。

無党派

【問】住居、地域コミュニティ、

福祉、ビジネス等、あらゆる空き家活用について、一戸建て・集合住宅の改修やリノベーション費用の助成制度、北九州市や豊島区で実施しているリノベーションスクールを創設して、後押しをすべきかどうか。

【建築】費用の助成制度やスキールの創設は、内容や建物所有者の意向を分析した上で、今後可能性を研究していく。

子ども・障がい者施策について

無党派 市川おさと 議員



多子世帯をどう支援していくか

【問】保育や住宅への支援のみならず、貧困の連鎖防止という視点からも多子世帯を見ていくべきだ。まず多子世帯の数を把握し、施策推進の基礎データとすべきと考えるがどうか。

また、子どもの貧困対策の中に、多子世帯支援を明記するべきだと考えるがどうか。

【貧困対策】多子世帯数の把握は、基礎データとして必要と考えており、住民記録データを基に早急に数値を把握し、その後の実態把握の手法も検討していきたいと考える。

多子世帯支援の明記は、状況を見極めた上で、計画の見直しの際に検討していく。

真の共生社会へ向けた対応を

【問】区は来年4月に施行される障害者差別解消法への全庁的な対応を検討しているとのことである。職員対応要領の対象は、



委託先の事業者まで含めなければならぬと考えるがどうか。また、障害者差別解消支援地域協議会には、複数の障がい者の参加が必要と考えるがどうか。【福祉】対応要領の対象範囲には、区の事業を担う委託先事業者も含まれるものと考えている。障がい者に関する協議会として、地域生活を支援するための、障害者総合支援法に基づいた足立区地域自立支援協議会がある。この協議会に専門部会を設け、障害者差別解消支援地域協議会の役割を担っていただくことができないかを今後検討していく。

第3回定例会での議決結果

区長提出議案

認定したもの

決算

◆平成26年度足立区一般会計歳入歳出決算

◆平成26年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算

◆平成26年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算

◆平成26年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

◆平成26年度足立区一般会計補正予算(第3号)

可決したもの

補正予算

◆平成27年度足立区一般会計補正予算(第3号)

◆平成27年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

◆平成27年度足立区介護保険特別会計補正予算(第2号)

◆平成27年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

◆足立区特別区税条例の一部を改正する条例

◆足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

◆足立区介護保険事業者支援施設条例の一部を改正する条例

◆足立区子ども施設指定管理者選定等審査会条例の一部を改正する条例

◆足立区における保育の利用等に関する条例の一部を改正するもの

◆鹿浜五色桜小学校新築電気設備工事請負契約

◆鹿浜五色桜小学校新築給排水衛生設備工事請負契約

予算の総額をそれぞれ509億3千782万7千円とするもの

(日本共産党足立区議団より反対の立場から討論あり)

◆平成27年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

債務負担行為を追加するもの

◆足立区特別区税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、規定を整備するもの

(無党派議員1名より反対の立場から討論あり)

◆足立区事務手数料条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行及び住民基本台帳法の改正に伴い、規定を整備するもの

◆足立区介護保険事業者支援施設条例の一部を改正する条例

足立区介護保険事業者支援施設使用者選定等委員会を区長の附属機関として設置するもの

◆足立区子ども施設指定管理者選定等審査会条例の一部を改正する条例

家庭の保育事業等の認可等の審査を足立区子ども施設指定管理者選定等審査会において行うもの

◆足立区における保育の利用等に関する条例の一部を改正するもの

興本保育園の位置を変更するもの

その他の議案

◆鹿浜五色桜小学校新築電気設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 3億1千104万円

相手方 アキラ・雄光

建設共同企業体

◆鹿浜五色桜小学校新築給排水衛生設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 2億4千33万2千400円

相手方 水工房・東洋

建設共同企業体

◆鹿浜五色桜小学校新築空調設備工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札

契約金額 2億3千306万4千円

相手方 坂田・産栄

建設共同企業体

◆災害備蓄用アルファ米等の購入及び入替えについて

契約方法 指名競争入札

契約金額 4千876万7千799円

相手方 廣瀬産業株式会社

東京支店

◆平成26年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告

実質赤字比率 1%

連結実質赤字比率 1%

実質公債費比率 0.6%

将来負担比率 1%

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「-」で表示

◆損害賠償額の決定

区道上の舗装がはく離し、穴が開いていたため、相手方の自動車のタイヤホイール2本が損傷したことに対する損害賠償額(12万1千円)の決定

◆議決を得た契約の変更

千住あずま住区センター改築工事請負契約

ほか5件

◆(仮称)千住防災ひろば整備工事請負契約の変更について

契約金額 1億7千712万円

相手方 平成27年12月11日まで

契約金額 2億2千138万8千120円

相手方 平成28年3月10日まで

株式会社

◆(仮称)区宮中央本町四丁目第2アパートその他改築工事請負契約の変更について

契約金額 32億5千194万4千800円

相手方 33億6千577万6千800円

相手方 三浦・田中・竹内

建設共同企業体

◆議決を得た契約の変更

関原小学校改築工事

ほか2件

◆放棄した債権

報酬返還金

ほか48件

◆平成26年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告

実質赤字比率 1%

連結実質赤字比率 1%

実質公債費比率 0.6%

将来負担比率 1%

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「-」で表示

◆損害賠償額の決定

区道上の舗装がはく離し、穴が開いていたため、相手方の自動車のタイヤホイール2本が損傷したことに対する損害賠償額(12万1千円)の決定

◆議決を得た契約の変更

千住あずま住区センター改築工事請負契約

ほか5件

議員提出議案

可決したもの

◆足立区議会会議規則の一部を改正する規則

会議への欠席に関する規定について整備するもの

◆ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

◆地方税財源の拡充に関する意見書

◆都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書

(意見書要旨は6面に掲載)



本会議の様子

会議録の閲覧 本紙に掲載いたしました、代表・一般質問や、議案の内容は概要です。詳細については12月中旬以降、区議会事務局・区政情報課・区立図書館で本会議録をご覧ください。区議会ホームページにも掲載いたします。

みなさんからの請願・陳情

採択したもの

綾瀬エリアデザイン計画の見直しを進め、区民の集える施設の誘致及び綾瀬地区の一体的な事業計画を求める請願(日本共産党足立区議団より採択に反対の立場から討論あり)

ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書提出に関する陳情

不採択としたもの

千住二丁目地区市街地再開発事業に関する「都市計画」の見直し及び都用地活用を求める陳情

公園トイレの廃止をやめ、充実に求める陳情

撤去された公園トイレの復活等に関する陳情

江北中学校・上沼田中学校の学校統廃合計画見直しに関する陳情

国にマイナンバー制度の中止を要望する意見書の提出を求めるとともに、足立区として個人情報保護や住民の知られたい権利の保証に万全を期すことを求める請願

自衛隊への若者の個人情報提供の中止を求める陳情

足立区が自衛隊員の募集活動に協力しないことを求める請願(以上7件の請願・陳情について、日本共産党足立区議団より不採択に反対の立場から

討論あり)

教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した教科書の採択を求める陳情

今定例会で可決した意見書(要旨)

今定例会で可決した意見書の要旨は次のとおりです。意見書は関係機関に提出しました。

ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

近年、一部の国や民族あるいは特定の国籍の外国人を排斥する差別的言動(ヘイトスピーチ)が横行し、社会的批判が強まっている。

ヘイトスピーチは、社会の平穏を乱し、人間の尊厳を侵す行為として、それを規制する法整備がされている国もあり、我が国においても、憲法の保障する「集会・結社の自由」や「表現の自由」とは相容れないものである。2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるが、オリンピック憲章の精神にも反するヘイトスピーチを放置することは国際社会における信頼を失うことにもなりかねない。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、表現の自由に十分配慮しつつも、ヘイトスピーチ対策について、ヘイトスピーチ禁止の理念を明確にした法整備を含む対策を速やかに検討し実施することを強く求めるものである。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣あて)

地方税財源の拡充に関する意見書

住民福祉の増進等に責任を負う地方自治体においては、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

しかし、国は、平成26年度税制改正において、地方法人特別税・地方法人特別譲与税を継続するとともに、地方消費税率の引上げにより、地方自治体間の財政力格差がさらに拡大するとの理由から、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入した。

こうした措置は、地方税財源の拡充につながらず、地方の自立そのものを妨げ、地方分権の流れに逆行するものである。

地方自治体が責任を持って充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足の中で財源調整では根本的な解決を図ることはできない。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として還元するとともに、不合理な偏在是正措置を新たに導入することなく、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要請する。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、経済財政政策担当大臣、地方創生担当大臣あて)

都市農地の保全と農業振興の推進に関する意見書

東京農業は、持てる農地や施設を最大限に活用し、野菜・果樹・花き・緑化植物、畜産といった多様な経営形態が展開され新鮮かつ安全・安心な農畜産物を生産している。

しかしながら、恒常化した農畜産物の低価格化は、所得面における他産業との格差をもたらす、農業の後継ぎ不足を招き、家族労働力は必然的に高齢化している。また、相続時における高額な相続税納入のために、農地は減少し続けているのが実態である。

このような現状の中で、待望久しい都市農業振興基本法の施行は、国及び政府の責務を明確にした。同法では、都市農業振興基本計画の策定、法制上、財政上、税制上又は金融上の措置、詳細に亘る基本的施策の実施が明記されており、その実現は都市農地の保全と都市農業の継続性に対し大きな希望を抱かせるものである。農業者や農業関係者は言うに及ばず、まちづくりや都市住民の視点からも大変大きな期待が寄せられている。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、都市農地の保全と都市農業振興に不可欠である農地関連法及び制度、税制等の具体的措置・農業施策が、都市農業振興基本法に基づき早急に講ぜられることを強く要望する。(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣あて)

【いずれも10月23日議決】

委員会活動

Table with columns: 委員会名, 日程, 主な内容 (審査, 報告, その他), 議案, 請願, 陳情. Lists activities of various committees like 総務委員会, 区民委員会, etc.

意見の分かれた案件 (23件中8件)

○=賛成 △=継続 ×=反対

Table showing legislative cases with columns: 件名, 会派名及び結果, 結果. Lists cases like 平成26年度足立区一般会計歳入歳出決算.

各議案に対する議員個人の賛否は議会ホームページで公開しています. Includes a screenshot of the Gikai Adachi website showing a table of member votes on bills.

足立区議会 自由民主党



討論者
光治 員
くしらい 員

平成26年度予算は「変化を力に、もっと前へ」と銘打ち、山積する諸課題の解決に向け、「変化」することで生み出された力で区をけん引し、さらに前進していくのだという、区長の区政に対する熱い思いが込められた予算であった。

平成26年度決算では、歳入は、都区財政調整交付金が前年度より約39億円の増となり、特別区税は前年度より約11億円の増となった。

歳出では、臨時福祉給付金約14億円を除いた扶助費が約24億円増加し、義務的経費は前年度比約23億円の増額となった。

また、投資的経費は約57億円の増額となったが、決算全体としては経常収支比率79.2%、実質収支額56億円余と、数字的には財政上の弾力性は改善されている。

足立区議会 公明党



討論者
佐々木 員
まさひこ 員

区は、第二次重点プロジェクト推進戦略の4つの柱の施策をさらに充実させ、「子ども」では、学力向上のためのあだち小学生基礎学習教室、そだち指導員のモデル配置事業等、「くらし」では、孤立ゼロプロジェクト事業や健康あだち21運動事業の推進、中小企業、商店街支援等、「まちづくり」では、復興税を活用した建物耐震化事業、公園防災対策等設備の設置推進、パークイノベーションの推進等、「経営改革」では、魅力あるあだちを発信するシティプロモーション事業等、いずれも我が党の要望を反映させ、区民の生活向上に資する事業となった。

専門定型業務の外部化は区民サービスのさらなる向上と共にプライバシーにも配慮し、今後とも行政改革を推進することを要

一方、気掛かりな事項が2点あった。1点目は、「ふるさと納税」制度である。区の特典は区のキャラクターのピンバッジや盾だが、区で採れた産品等、地方都市に負けない魅力や都心区が真似のできない特典を用意すべきである。

2点目は、法人住民税の国税化である。自主財源が乏しい当区にとって、財政上の体力を確実に奪われることになり、財政運営に大きな打撃となる。

地方自治体が責任を持って住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、法人住民税の国税化は地方税の原則をゆがめるもので、見過ごせるものではない。区長には引き続き23区一体となり、都と力を合わせ、国に働きかけていくことを強く要望する。

最後に、次年度の予算編成にあたっては、本決算特別委員会において我が党委員の指摘した様々な提案及び要望事項を尊重し、その実現に努力されるよう強く要望する。

望する。また、本年7月に発売されたスーパードレミアム商品券は発売早々に売り切れ、区民から様々な声が寄せられた。今後販売する場合には区民に負担をかけない抽選等、公平な方法を要望する。

最後に、我が党委員が指摘し、提案・要望した事項、水害時のタイムライン計画策定、子どもの貧困対策、竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業のさらなる推進、介護施設の充実、家賃補助等不足する保育士の雇用対策、公共施設駐車料金の上限設定、糖尿病対策、産業振興施策の充実、日暮里・舎人ライナーの混雑対策、西新井駅東西自由通路の推進、給付型奨学金の創設、主権者教育の充実、学校特別教室のエアコン設置、学校トイレの洋式化推進、小中連携教育の推進、特別支援教室の充実、オリンピック・パラリンピック教育の推進等を重く受け止め、今後の予算執行や平成28年度予算に反映させ、区民目線で足立区に住んで良かったと実感できる施策の充実を強く求める。

区分	会派名	足立区議会 自由民主党	足立区議会 公明党	日本共産党 足立区議団	足立区議会 民主党
一般会計		認定	認定	不認定	認定
国民健康保険特別会計		認定	認定	不認定	認定
介護保険特別会計		認定	認定	不認定	認定
後期高齢者医療特別会計		認定	認定	不認定	認定

決算特別 委員会の 討論(要旨)



決算特別委員会委員(22名)
◎委員長 ○副委員長

- ◎委員長 新井 員 (ひでお)
- 副委員長 小泉 員 (ひろし)
- はたの 昭彦 員
- 鹿浜 信昭 員
- 馬場 信男 員
- 渡辺 信男 員
- 吉岡 茂 員
- 古性 重則 員
- くしらい 光治 員
- 藤沼 壮次 員
- 白石 正輝 員
- 吉田 こうじ 員
- 佐々木 まさひこ 員
- くぼた 美幸 員
- 長井 まさのり 員
- うすい 浩一 員
- 西の原 えみ子 員
- ぬかが 和子 員
- 米山 やすし 員
- 鈴木 ありさ 員
- 土屋 のりこ 員
- へんみ 圭二 員

日本共産党 足立区議団



討論者
昭彦 員
はたの 員

区は、平成26年度当初フレームでは前年度対比25億円の圧縮を目標に掲げ、区民施策の削減を行った。

しかし、区民税は見込みより15億円多い約396億円、都区財政調整交付金も55億円多い990億円、決算剰余金は56億円、積立金は25年度決算時に比べ102億円の増額、決算総額で1千190億円となり、数年で底をつくとしていた根拠はないことが明らかになった。健全化判断比率も3つの比率は健全過ぎず数字が出ず、全国的に見れば財政に余力のあることも明らかになった。

1台1千285万円のデジタルサイネージ、外部委託では受託企業に多額の税金、特定企業の再開発には13億円等、大盤振る舞いをする一方で、学校給食費を値上げ、200万円にも満たない成人式の記念品までも削

足立区議会 民主党



討論者
やすし 員
米山 員

足立区は、変化を恐れることなく前へ進む決意を持って、平成26年度各会計予算を編成した。平成26年度に実施された教育、ビューティフル・ウィンドウズ運動、孤立ゼロプロジェクト、糖尿病対策や経済施策、大震災の備え等、足立区の挑戦と名付けた各事業は、復興税の活用等もあり、成果を挙げたものと評価する。

また、公契約条例のスタート、千住大橋地区の商業施設のオープン、アレフへの観察処分の更新を求める署名運動、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の取り組み、衆議院議員総選挙、待機児童の問題の深刻化等、様々なことがあった年であった。この平成26年度決算にあたって、私たちは、区の職員のミスやサービスの問題、特別区民税、国民健康保険料の不納欠損や収

た。さらに、老朽化した学校の改築は先送りし、築年数の新しい学校を統廃合計画による改築で優先する姿勢も明らかになった。また戸籍の外部化では、我が党が当初から指摘していた法令違反を東京法務局、東京労働局に指摘され改善を余儀なくされた。プライバシーを侵害し、経費削減やサービス向上にもならないがさらに長期契約を結び、国保業務にまで広げる姿勢である。

国民健康保険は、保険料が平均一人当たり4千638円の値上げと、サービス設計だけで1億7千万円の税金を投入して新たな外部委託に踏み出した年であり認められない。介護保険は、1年以上の滞納で全国トップクラスのペナルティを一律にかける等、介護を奪うような姿勢は認められない。

後期高齢者医療でも4千118円の値上げとなり、さらに負担を負わせ、苦しめるやり方は認められない。区民の暮らしの応援を最優先する行財政運営を行うよう強く求める。

入未済の課題、各種災害への備え、デジタルサイネージの活用、待機児童問題、ふるさと納税や寄附、各種施設の入園料設定の工夫、給付型奨学金や学校図書館の充実、ひとり親家庭支援等の子どもの貧困対策、区の遊休地や建物の利活用、健康づくりや減塩運動、都立中川公園を安心して使える夢ある施設にするための具体的な提案、図書室へのエアコンの設置等、様々な質疑を通して指摘、提案した。

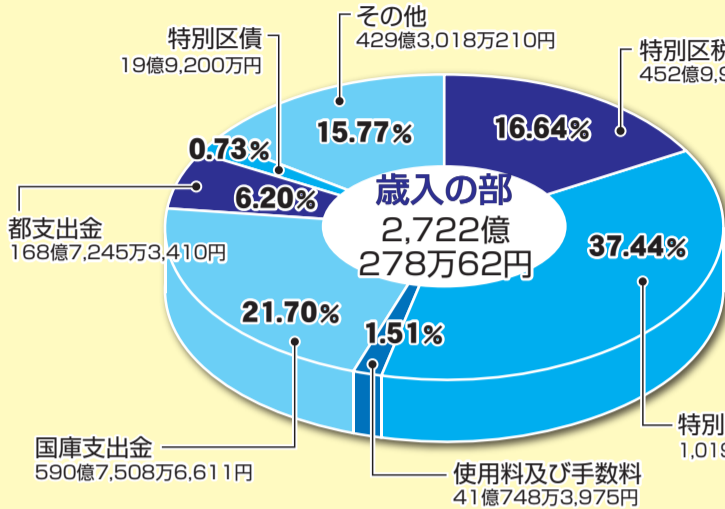
また、給付型奨学金、ふるさと納税のさらなる工夫、福祉人材の確保等は、党派を超えて議会として意見の一致をみたと思う。区民の代表である私たちの声を重く受け止め、多くの区民の皆様が、税負担を果たしながらも、自主的な協働プロジェクトを立ち上げて下さっている現実を常に念頭に入れ、今後の区政運営や予算編成、基本構想、基本計画の策定、事務事業の執行、さらには区民の皆様への接し方に反映していただくことを求める。

解説語
*デジタルサイネージ：災害情報等を表示する電子看板(ビューテレビ等)

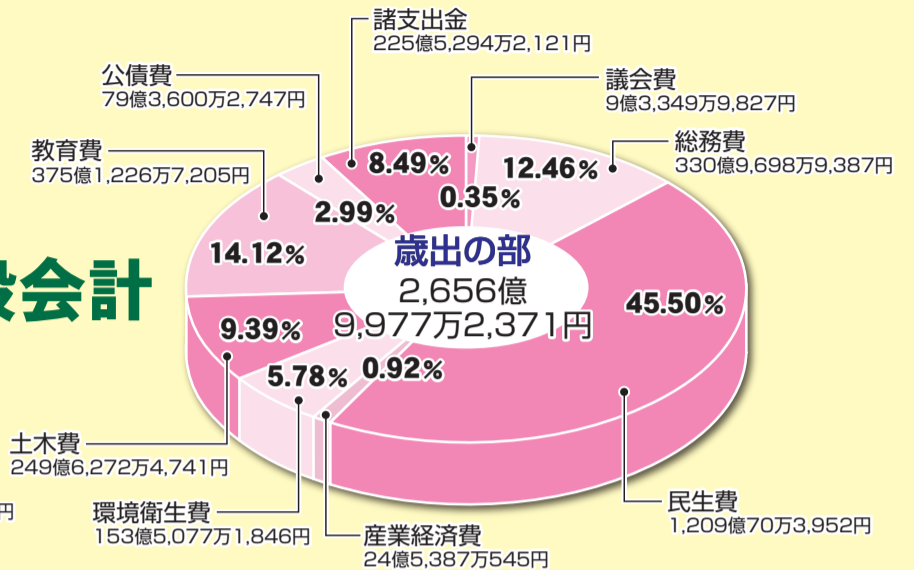
平成26年度 各会計決算

※端数処理の関係で100%とにならない場合があります。

区分		26年度	25年度	増減額	増減率
一般会計	歳入総額	272,202,780千円	263,140,709千円	9,062,071千円	3.4%
	歳出総額	265,699,772千円	254,310,515千円	11,389,257千円	4.5%
国民健康保険特別会計	歳入総額	84,533,298千円	85,040,286千円	△506,988千円	△0.6%
	歳出総額	82,749,345千円	83,217,883千円	△468,538千円	△0.6%
介護保険特別会計	歳入総額	48,098,694千円	45,654,925千円	2,443,769千円	5.4%
	歳出総額	47,296,779千円	44,742,702千円	2,554,077千円	5.7%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	12,542,695千円	11,815,397千円	727,298千円	6.2%
	歳出総額	12,464,785千円	11,676,095千円	788,690千円	6.8%



一般会計



一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみなさんから区へ納められた税金。特別区民税、軽自動車税など。
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と23区間で財源の均衡調整を図る交付金。
国庫支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付される補助金など。
都支出金	

一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に関する経費。
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に関する経費。
土木費	道路や公園の整備に関する経費。
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習に関する経費。

予算の執行が適正かつ効率的に行われたかどうか、また、施策や事業の達成度、今後改善を要する点は何かなどに視点を置き、各委員がそれぞれの立場で

健全化判断比率については、基準に対し特に問題となることはありませんでした。

普通会計決算では、実質収支は約56億8千900万円、前年度に比べ約19億5千400万円の減となり、経常収支比率は79.2%で、前年度に比べ2.4ポイントの減となり、6年振りに80%を下回り、数値的には財政上の弾力性が改善されました。

平成26年度予算は、足立区第2次重点プロジェクト推進戦略のこれまでの取組みをさらに発展・充実させ、区民がその成果を実感できるように、取り組みを強く推進する予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千722億278万62円、歳出で2千656億9千977万2千371円となり、前年度比では歳入は3.4%の増、歳出は4.8%の増となりました。

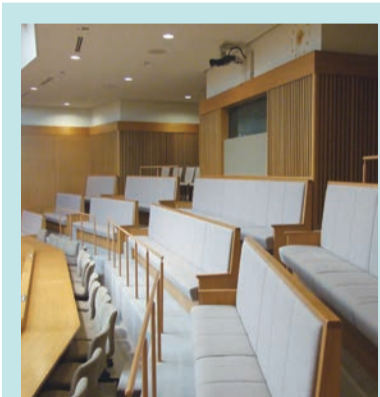
平成26年度予算は、足立区第2次重点プロジェクト推進戦略のこれまでの取組みをさらに発展・充実させ、区民がその成果を実感できるように、取り組みを強く推進する予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千722億278万62円、歳出で2千656億9千977万2千371円となり、前年度比では歳入は3.4%の増、歳出は4.8%の増となりました。

平成26年度予算は、足立区第2次重点プロジェクト推進戦略のこれまでの取組みをさらに発展・充実させ、区民がその成果を実感できるように、取り組みを強く推進する予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千722億278万62円、歳出で2千656億9千977万2千371円となり、前年度比では歳入は3.4%の増、歳出は4.8%の増となりました。

平成26年度予算は、足立区第2次重点プロジェクト推進戦略のこれまでの取組みをさらに発展・充実させ、区民がその成果を実感できるように、取り組みを強く推進する予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千722億278万62円、歳出で2千656億9千977万2千371円となり、前年度比では歳入は3.4%の増、歳出は4.8%の増となりました。

平成26年度予算は、足立区第2次重点プロジェクト推進戦略のこれまでの取組みをさらに発展・充実させ、区民がその成果を実感できるように、取り組みを強く推進する予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計は、歳入で2千722億278万62円、歳出で2千656億9千977万2千371円となり、前年度比では歳入は3.4%の増、歳出は4.8%の増となりました。

平成26年度各会計決算
決算特別委員会での審査と本会議での議決



第4回定例会のお知らせ
次回、第4回定例会は12月2日から21日に開かれます。12月2日、3日、4日、21日の本会議はJ:COM足立(J:COMチャンネル足立111ch)で生放送の予定です。※日程は変更される場合があります。

多面かつ細部にわたり活発な質疑を展開し、慎重なる審査が尽くされました。

10月14日に質疑を終了し、各会派の討論及び無党派議員の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成26年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、いずれも挙手多数により認定すべきものと決し、審査を終了しました。

（討論の要旨を7面に掲載）
本会議での議決結果
10月23日の本会議において、新井ひでお委員長が、本特別委員会での審査結果を報告しました。その後採決を行い、委員会の決定のとおり認定しました。

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎中央館6階の区議会事務局にて受付し整理券を発行します。（※1）

議会を傍聴してみませんか？

整理券の発行は、傍聴席の定員が決まっているため、それを超える人数が集まる場合の抽選を想定して行っています。

※1 整理券の発行は、傍聴席の定員が決まっているため、それを超える人数が集まる場合の抽選を想定して行っています。

※2 委員会の傍聴券は区議会事務局で、本会議の傍聴券は中央館8階の議場入口で発行します。

問合せ 議事係
Tel (03)8800(0)5797

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎中央館6階の区議会事務局にて受付し整理券を発行します。（※1）

定員を超えた場合は、30分前に抽選し、当選者に傍聴券を発行します。

定員を超えなかった場合は、開会予定時刻30分前を過ぎた後、定員を満たすまで先着順に傍聴券を発行します。（※2）

なお、傍聴券には、住所・氏名の記入が必要であり、お帰りの際はご返却いただきます。

傍聴時、議場や委員会室の中では、携帯電話の電源はお切りください。また、傍聴に際し、難聴者補助設備（磁気ループ）の利用を希望される方は、傍聴する会議の前日（前日が閉庁日に該当する場合は直前の開庁日）午後5時までにご連絡をお願いします。

日程等は、区議会ホームページやあだち広報でご確認ください。

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎中央館6階の区議会事務局にて受付し整理券を発行します。（※1）

定員を超えた場合は、30分前に抽選し、当選者に傍聴券を発行します。

定員を超えなかった場合は、開会予定時刻30分前を過ぎた後、定員を満たすまで先着順に傍聴券を発行します。（※2）

なお、傍聴券には、住所・氏名の記入が必要であり、お帰りの際はご返却いただきます。

傍聴時、議場や委員会室の中では、携帯電話の電源はお切りください。また、傍聴に際し、難聴者補助設備（磁気ループ）の利用を希望される方は、傍聴する会議の前日（前日が閉庁日に該当する場合は直前の開庁日）午後5時までにご連絡をお願いします。

日程等は、区議会ホームページやあだち広報でご確認ください。

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎中央館6階の区議会事務局にて受付し整理券を発行します。（※1）

定員を超えた場合は、30分前に抽選し、当選者に傍聴券を発行します。

定員を超えなかった場合は、開会予定時刻30分前を過ぎた後、定員を満たすまで先着順に傍聴券を発行します。（※2）

なお、傍聴券には、住所・氏名の記入が必要であり、お帰りの際はご返却いただきます。

傍聴時、議場や委員会室の中では、携帯電話の電源はお切りください。また、傍聴に際し、難聴者補助設備（磁気ループ）の利用を希望される方は、傍聴する会議の前日（前日が閉庁日に該当する場合は直前の開庁日）午後5時までにご連絡をお願いします。

日程等は、区議会ホームページやあだち広報でご確認ください。

本会議や委員会の傍聴を希望される方は、「傍聴券」が必要です。本会議・委員会の開会予定時刻の1時間前から30分前まで、本庁舎中央館6階の区議会事務局にて受付し整理券を発行します。（※1）

定員を超えた場合は、30分前に抽選し、当選者に傍聴券を発行します。

定員を超えなかった場合は、開会予定時刻30分前を過ぎた後、定員を満たすまで先着順に傍聴券を発行します。（※2）

なお、傍聴券には、住所・氏名の記入が必要であり、お帰りの際はご返却いただきます。

傍聴時、議場や委員会室の中では、携帯電話の電源はお切りください。また、傍聴に際し、難聴者補助設備（磁気ループ）の利用を希望される方は、傍聴する会議の前日（前日が閉庁日に該当する場合は直前の開庁日）午後5時までにご連絡をお願いします。

日程等は、区議会ホームページやあだち広報でご確認ください。

議会を傍聴してみませんか？

無党派 市川 おさと
Tel (03)8800(0)6080

無党派 へんみ 圭二
Tel (03)8800(0)5780

無党派 松丸 まこと
Tel (03)8800(0)5721

無党派 土屋 のりこ
Tel (03)8800(0)5797

足立区議会民主党
Tel (03)8800(0)5775

◎鈴木 あきら 米山 やすし
◎おぐら 修平 長谷川 たかこ

日本共産党足立区議団
Tel (03)8800(0)5770

☆ぬかが 和子 はたの 昭彦
◎鈴木 けんいち 西の原 えみ子
◎針谷 みきお 山中 ちえ子
◎浅子 けい子

足立区議会公明党
Tel (03)8800(0)5765

☆たがた 直昭 いいくら 昭二
◎長井 まさのり 岡安 たかし
◎くぼた 美幸 佐々木まさひこ
◎小泉 ひろし 吉田 こうじ
◎前野 和男 さの 智恵子
うすい 浩一 大竹 さよこ
瀬上 隆

足立区議会自由民主党
Tel (03)8800(0)5760

◎吉岡 茂 古性 重則
◎馬場 信男 渡辺 ひであき
◎ただ太 郎 高山 のぶゆき
◎白石 正輝 かねだ 正
◎藤沼 壮次 鹿浜 昭
◎せぬま 剛 工藤 哲也
◎新井 ひでお 伊藤 のぶゆき
◎くじらい 光治 長澤 興祐
◎鴨下 稔

会派等一覧

☆団長／◎幹事長／○副幹事長